

第5節 交流を進めみんなで協働して創るまち



姉妹都市ライマ市の少女と小学生たち

1 国内・国際交流の推進

朝来町との交流をはじめ、兵庫五カ国交流会議、全国ミニ団体連絡会議、全国伝統地名市町村連絡会議などを通じて地域間の交流を進め、さらにまちの活性化に努める。

あわせて、国際化、情報化が進展するなかあって、多文化との共生を図るとともに、国際理解を深めるため、住民が主体的に行う友好・姉妹都市などの海外交流や、地域に住む外国人との交流を進める。

2 コミュニティの活性化

地域活動やイベントの開催、さらにスポーツ・文化活動を通じて住民相互の交流を深める。

また、コミュニティセンターを地域交流の拠点とし、お互いに支えあう地域づくりを進める。



コミュニティセンターのサークル活動

3 まちづくりへの住民参加の推進

住みやすいまちづくりを進めるにあたっては、多様な住民ニーズにきめ細かく対応していくために、従来にもましてより幅広く住民参加が求められている。

このため、住民の意識の高揚に加えて主体的な住民参加手法の研究と定着化を図り、住民、企業、行政が協働して、みんなで創るまちづくりを進める。



まちづくり委員会

4 行財政運営の適正化

地方分権の推進、情報公開をはじめとする行政サービスの高度化を図るとともに、行財政運営システムの適正化、効率化に努める。

一方、スポーツ、文化施設などの広域利用や廃棄物の広域処理など、効率的な行政運営のために近隣市町との連携をさらに進める。



役場住民課の窓口